様式３(2020.08改)

作成日　令和２年８月２５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000415
事業所名	グループホーム猿投の楽園

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	認知症カフェや交流館祭など、地域行事には積極的に参加し、利用者の縫った雑巾を学校に寄付して交流を図っている。 SNSを活用してホームの情報を発信し、地域に認知してもらえるよう取り組んでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議には利用者、家族、行政、区長や民生委員、医療関係者、駐在所職員など、多様な人材が多数参加している。 ホームの取組みを報告し、抱える課題について意見交換して効果的な会議となっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	法人が運営する地域包括支援センター主催の認知症カフェの運営に協力し、いつでも相談できる良好な関係を築いている。 市が開催する研修や会合にも積極的に参加し、意見交換して情報共有を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	年2回開催される家族会やホーム行事には多数の家族が参加し、日常の来訪時にも利用者の様子を伝え、意見や要望を得る良好な関係を築いてきた。 面会が困難な現状下、電話連絡を頻回に行って補っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

過去１年間に４回は集合しての運営推進会議が開催された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大後は、市の指針に則り２回は書面を配付して関係者間で情報共有した。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×		×	×	×	×	×	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										